

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	10	学 校 名	田方農業高等学校	校 長 名	久保田 豊和
------	----	-------	----------	-------	--------

1 スクール・ミッション

静岡県東部地域における農業教育の拠点校として、校訓『誠実・勤勉・自治』の下、動植物を介在した特色ある学びと、共生・共育の実践を通して、幅広い教養を身に付けるとともに、人間愛に満ちた豊かな心を育て、持続可能な社会づくりと地域産業・文化の発展に貢献する有為な人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー ※グランドデザイン（別紙参照）

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
～卒業までにこのような力を身に付けます～ ○「誠実」自己と他者の多様性を尊重し、互いを大切にする。 ○「勤勉」自分に向き合い、深く考え、実行するために、生涯にわたって学び続ける。 ○「自治」自分の能力や個性を生かして、地域や社会に貢献できる。	～このような学びを行います～ ○生命を育て食に向き合う事で、自分に向き合い、自信を持ち、未来に向かって成長する。 ○農業を学び、農業で学ぶことによって、自他の体と心と社会のウェル・ビーイング（Well-being）について考え行動する。 ○社会人として地域や社会に貢献するため、生き方、暮らし方、働き方を考える。	～このような生徒を求めます～ ○農業及び5教科の学習内容に興味と関心を持ち、将来に向かって自分の意志で考え、学び、行動できる生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア （生徒が）農業高校で学ぶ知識と技術をしっかりと体験し身に着ける。（基礎学力の定着。実験・実習を大切にする。）
- イ （生徒が）自ら考えて、自他のために行動する力を身に付ける。
- ウ （生徒が）将来の生き方・暮らし方・働き方を考える。（キャリア教育と進路指導の充実）
- エ （生徒が）学校農業クラブ・生徒会・部活動によって自治を学ぶ。
- オ （生徒が）伊豆田方分校等との「共生・共育」によって社会の多様性について学ぶ。
- カ 全ての生徒・教職員が安全で安心して学ぶことのできる場をみんなでつくる。
- キ （生徒、教職員が）持続可能な社会をつくるために、保護者や地域社会と連携する。
- ク （教職員が）新しい時代の価値観に沿った働き方、専門職性を修得する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標（昨年度成果）	担当部署
ア	農業高校で学ぶ知識と技術をしっかりと体験し身に着ける。 （基礎学力の定着。実験・実習を大切にする。 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	○学習指導要領に沿った授業及び実験・実習の充実と評価評定の実施。 ○学びの基礎診断を活用した基礎学力の定着。 ○授業改善とICT活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実。	○常に授業を大切にし、準備をして臨むことができた生徒 90%以上。(97) ○基礎学力が定着した生徒 80%以上。(生 88 保 53) ○毎日の学習活動でICTを活用した生徒 80%以上。(73)	農業科 教務課 (各教科) 進路課 スクール メディア課

様式第1号

イ	自ら考えて、自他のために行動する力を身に付ける。	○授業規律と共に、自発的・共感的な学びができる授業環境づくり。 ○朝読書の質向上と図書館の機能の充実。 ○整理整頓・清掃を意識した教育環境づくり。	○実験実習等で挨拶や感謝の言える生徒 90%以上。(96) ○自発的・積極的に授業や家庭学習に取り組む生徒 80%以上。(81) ○自分の意見や考えを持ち、他者の意見を認める生徒 90%以上。(96) ○朝読書を有効に活用できたとする生徒 90%以上。(93) ○整理整頓を意識し清掃が行える生徒 90%以上。(94)	農業科 教務課 スクールメディア課 総務課 保健課
ウ	将来の生き方・暮らし方・働き方を考える。(キャリア教育と進路指導の充実)	○進路意識を高めるHR活動等の実施。 ○多様な進路に対応する面接、小論文指導の実施。	○進路意識が高まった生徒 90%以上。(87) ○進路指導が十分行われていると感じる生徒 90%以上(94)、保護者 90%以上。(88)	進路課 各学年
エ	学校農業クラブ・生徒会・部活動によって自治を学ぶ。	○リーダーの育成と生徒の主体性を育てる活動支援。 ○部活動ガイドラインに則った部活動計画の実施。	○学校農業クラブ活動に積極的に関わった生徒 70%以上。(54) ○学校行事等を積極的に行った生徒 90%以上。(95) ○子供が部活動に満足していると感じる保護者 80%以上。(71)	農業科 生徒課
オ	伊豆田方分校等との「共生・共育」によって社会の多様性について学ぶ。(インクルーシブな学校運営モデル事業)	○伊豆田方分校及び外部との交流活動を各科で計画的に実施し、共生・共育を充実させる。	○共生・共育の交流活動 5 回以上。 ○講師招請を含めた地域連携活動各科 1 回以上。 ○共生・共育の検証実施	教務課 農業科
カ	全ての生徒・教職員が安全で安心して学ぶことのできる場をみんなでつくる。	○自己肯定感や自己有用感を高める支援。 ○地域・家庭と連携した防災計画・訓練の実施。	○特別支援教育や教育相談、通級指導の情報共有 10 回以上。 ○地域防災訓練に参加した生徒 50%以上。(12)	保健課 相談室 総務課
キ	持続可能な社会をつくるために、保護者や地域社会と連携する。	○PTA活動の充実支援。 ○地域の特性を生かした農業教育の推進。 ○学校運営協議会の充実。	○時代に即したPTA活動の実施。 ○JAや地元農家・企業との連携が促進。 ○熟議が学校運営に反映したと感じる委員 90%以上。(100)	総務課 農業科 管理職
ク	新しい時代の価値観に沿った働き方、専門職性を修得する。	○校内研修の充実。 ○生徒のメンターとなる働き方の実現。 ○コンプライアンス意識を徹底。 ○事案に応じた計画的な準備と経費の執行。	○専門職性向上のための研修実施。 ○ワークライフバランスと生産性向上。 ○教職員の不祥事、体罰、交通事故 0 件。 ○監査、検査の注意 0 件。	研修課 管理職 事務部